



シオノギ Shionogi Web Conference

Webカンファレンス

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。このたび、「研修医のステロイドの使い方」をテーマに、インターネットを用いたカンファレンス形式の講演会を企画いたしました。特にご自身の研究から最新の知見を交えてご講演を頂き、ご質問にもお答え頂きます。ご多忙のこととは存じますが、是非ともご臨席賜りますよう、お願い申し上げます。

開催日 2013年9月6日(金)

時間 19:00～20:00

## 研修医のための ステロイドの使い方 (基礎から応用)

東邦大学医学部 内科学講座 膠原病学分野 教授 **川合 眞一** 先生

研修医となると、学生時代に講義や教科書で学ぶ以上にステロイドがさまざまな場面に使われていることに気付くと思います。それだけステロイドは臨床の場で便利に、かつ広範に使われています。ステロイドは、人類に最も貢献した薬の1つですが、一方では重大な副作用を生じさせることもよく知られており、臨床では微妙な匙加減を必要とする薬でもあります。

ステロイドの歴史は古く、1948年にヒトに初めて使われています。そのため、既に多くの臨床的エビデンスが証明されていますが、逆にEBMが一般的ではなかった時代も長かったことから、経験的に使われてきたという側面もあります。そこで、今回のWEBカンファレンスでは、日頃臨床の場で研修医の皆さんが疑問に思い、ちょっと調べたくくなるようなステロイドの基礎知識や使い方のコツについて、エビデンスと経験に基づいて私がまとめ、それを基に皆さんとディスカッションしたいと思います。今回のWEBカンファレンスをきっかけにして、研修医の皆さんが、将来自分なりのステロイド療法をマスターし、ステロイドの達人になることを期待しています。

### 【略歴】

昭和52年 3月 慶應義塾大学医学部卒業  
昭和59年12月 米国国立衛生研究所(NIH) 研究員  
平成 3年 6月 聖マリアンナ医科大学  
難病治療研究センター講師  
平成11年 4月 同センター教授  
平成16年 4月 東邦大学医療センター大森病院 膠原病科教授  
平成17年 7月 同院 リウマチ膠原病センターセンター長  
平成21年 4月 同大副医学部長  
平成24年 4月 同大医学部内科学講座膠原病学分野教授

### 【他の役職など】

慶應義塾大学医学部客員教授  
聖マリアンナ医科大学客員教授  
浜松医科大学非常勤講師  
日本リウマチ財団理事  
日本リウマチ学会評議員  
日本炎症・再生医学会理事  
日本臨床薬理学会評議員 など

開催場所: 卒後臨床研修センター ラウンジルーム  
※お弁当用意します

主催: 塩野義製薬株式会社